

第 X I 因子		275500		
factor11		担当部署		
検査オーダー		血液		
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		空腹時静脈より採血し、気泡、溶血及び組織トロンボプラスチンの混入を防ぐ。		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	2 黒小	3.2%クエン酸 Na	1.8	mL
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体 2) 凝固検体 3) 採血量過不足の検体 4) サンプリングできない検体		
保管検体の保存期間		室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部		

測定時間		当日中				
生物学的基準範囲		60～140% EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」 433				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
55	185	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		身体運動により活性は上昇する。妊娠中は増加する。				
臨床的意義		<p>内因系凝固機序の初期反応に参画する接触相因子群である。第 XI 因子欠損症は常染色体劣性遺伝をとりユダヤ人に多いことが特徴である。鼻出血、皮下出血、過多月経を呈することがあるが、出血症状は一般的に軽い。後天的には、肝障害や DIC において低値となる。</p> <p>EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」 432-434</p>				